

会議要旨

1 会議名	第1回石垣市子ども・子育て会議			
2 開催日時	令和6年7月31日(水) 14時00分～16時00分			
3 開催場所	石垣市役所2階 大会議室1			
4 出席者	< 委員 > 委員12名 < 事務局 > 子育て支援課 < 欠席 > 委員1名			
5 次第	1.開会 2.委嘱状交付 3.市長挨拶 4.会長・副会長選出 5.会長挨拶 6.報告 (1) 調査結果報告(ニーズ調査、関係団体等ヒアリング、オンライン意見箱) (2) 第2期進捗評価結果報告 7.事務連絡 8.閉会			
6 配布資料	資料1 第3期石垣市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査等結果報告書 資料1-1 オンライン意見箱 資料2 第2期事業計画の進捗状況			
整理No.	発言者	資料該当箇所	質疑・ご意見	事務局及び他部署からの回答等
報告(1) 調査結果報告(ニーズ調査、関係団体等ヒアリング、オンライン意見箱)				
	事務局	資料1、1-1		資料に沿って説明
1	委員	資料1 P1	ニーズ調査の回収率について、「就学前児童」が49.6%、「小学生」が50.9%、「中学生」が57.7%であるが、調査として問題ないか。	前回調査に比べると、回収率は下がってはいるものの、およそ半数の回答を得られているため有効な回収率であると認識しており、しっかり計画に反映していきたい。
2	委員	資料1 P170	【ご意見】 児童館の土曜利用は、ニーズが高く、実態として定員を超えた利用がある。特に乳幼児については、保護者との利用が必要であり、定員数が逼迫してしまう。私立保育園、公立保育園、児童館の連携を強め、乳幼児の預かり場所の確保が必要だと感じている。	
3	委員	資料1 P170	(上記に関連して) 保育園側から、土曜利用は、保育士の休日であったり、保育士自身が保護者であるため出勤ができない状況であり、家庭保育を勧められることがある。その結果、児童館の利用者数が多くなっていると思う。	

整理 No.	発言者	資料該当箇所	質疑・ご意見	事務局及び他部署からの回答等
4	伊盛会長 石垣市福祉部子ども未来局 局長	資料 1 P170	(上記に関連して) 保育士の人材確保は、石垣市において大きな課題だと感じている。 加えて、保育士の定着（働きやすい環境・離職しない環境）を図る必要があると感じている。 また、乳幼児については、保護者との愛着を形成する期間だと思うので、土日の就労がない保護者には、家庭で親子の時間を過ごす時間を作れるような取り組みを行政として行えればとも考えている。	
5	委員	資料1-1	オンライン意見箱の具体的な実施方法を教えてください。 また、保護者の回答もあるみたいだが、なぜか。	小学校・中学校に協力いただき、QR付きチラシの配布や児童館等にもポスターを掲載し意見箱の周知を行い、回答いただいた。 また、児童・生徒の回答は、保護者にも手伝っていただいたため、一部、子ども以外の意見も入っている。
報告（2）第2期進捗評価結果報告				
	事務局	資料2		資料に沿って説明
6	委員	資料2 P9・P11	一時預かり事業や病後児保育事業の実績が計画値を大きく下回っているが、事業の利用に条件や利用しにくい理由などがあたりするののか。	一時預かり事業については、幼稚園型と一般型とがある。一般型は、保育園等に預けていなくても一時預かりができるという事業だが、保育園等に事業の依頼をしているが実施に繋がっていないという現状である。 病児保育事業については、病院内に併設して対応している事例もあるが、本市においては病院のスペース的な問題や職員不足等により実施できていない。 病後児保育事業は、看護師がいるファミリー・サポート・センターで対応している。
7	委員	資料2 P9・P11	兄弟がいる家庭で病児の入院が発生した場合、保護者も一緒に入院する事があるが、残された兄弟の居場所が無く、困っているケースがある。その場合の対応ができる制度などはあるか。	【委員】 ひとり親については、沖縄県の「日常生活支援事業」を利用すると、登録している支援員に預かってもらうことができる。 【会長・事務局】 両親がいる家庭については、有料だがファミリーサポートセンターで預かり保育（宿泊を含む）を行っている。 ファミリーサポートセンターのお助け会員が減少してきている状況を踏まえ、竹富町と協力して、お助け会員の養成講座を年4回実施し、会員の登録増に向けて対策をしている。

整理 No.	発言者	資料該当箇所	質疑・ご意見	事務局及び他部署からの回答等
8	委員	資料2 P18	・北部に新規開園予定のこども園について教えて欲しい。	北部地区に「いばるまこども園（仮称）」を令和8年度4月に開設予定で工事着工を予定している。場所は、伊原間中学校の敷地内を予定している。 当該こども園は、北部の3幼稚園と1保育所を集約して開設し、3幼稚園・1保育所は閉園する予定。
9	委員	資料2 P18	（上記に関連して） こども園で働く人に必要な資格は何か。 また、こども園で働く人の職名は何か。	本市では、幼保連携型認定こども園として対応している為、「保育士」と「幼稚園教諭」の二つの免許を取得している人が「保育教諭」と呼ばれる職員となる。
10	委員		<p>八重山私保連として、代表として要望を申し入れさせていただきます。</p> <p>1.補助金の継続について 本日の会議での多くの部分で人材不足が挙げられたと思う。石垣市もいろいろと人材確保の為に施策をしてくれて大変ありがたい。そんな中、保育士1人あたり月5000円の給与補助金が今年度で終了となってしまふ。人材不足のなかでは是非本事業を継続して欲しい。</p> <p>2.保育士の子どもの入所について 年度の途中で保育士の子が入所できず、その保育士の（育休）復職・採用ができない現状がある。保育士の働き先の保育園での受け入れなど、保育士がいつでも確実に復職できるように、これに伴い、保育士の子どもがいつでも確実に入所できるように、保育園入所の為に点数設定等を見直してほしい。</p> <p>3.研修について 人材不足の中、子育て支援員の研修、県の申し込みに落ちてしまっている現状がある。研修の回数、受け入れ人数を増やしてほしい。</p>	<p>1.補助金開始時より3年間限定で実施しており、県や国の補助もなく事業継続は難しく、今年度で終了となる。</p> <p>2.保育士については加点があるので、他の職業に比べて優先されているところ。</p> <p>3.石垣市主催の子育て支援員研修を例年実施しており、今年度も開催予定なので、石垣市主催研修への申込を検討いただきたい。</p>